

Mr. Peter Hamann 氏（陶芸家・茶人）のデトロイト地区の2美術館を訪問

2020.1.18

JBSD 顧問、JCD 主幹 大光敬史

- 1) Mr. Peter Hamann 氏（兵庫県丹波篠山市）が、デトロイト地区でJCDを通して関係の深い2つの美術館を訪問し、茶道具を中心に意見会（茶道具鑑定など）を行った。（行程表参照）
- 2) Peter さんは欧米人では唯一、日本工芸会正会員（日本工芸展入選 20 回）の陶芸家である。また茶人（武道の茶道としての歴史を持つ藪内流）でもあるという珍しい略例をお持ちの上、アメリカ・ネブラスカ州で生まれ、日本に帰化した方。流暢な日本語で陶芸やお茶に関して両美術館の学芸員にお話をされた。日本語の意味する対応英語がない場合も多い内容も、彼の解釈をベースに英語化され両美術館での意見会が大変興味深く進んだ。
- 3) DIA のアジア学芸員の Ms. Katherine Kasdorf と U M M A のアジア学芸員の及部奈津さん共々、Peter さんの訪問でより深い知識を得られたと思う。
- 4) JCD としては、日本文化を地元伝える役目である、この両美術館の学芸員に、文化財をより正しく理解をしてもらえるようにと、今回の Peter さんの北米訪問に合わせて美術館訪を訪問頂き、よい議論の場を持てたと思う。
- 5) こういった文化人が北米を訪問する際に、デトロイトを見てもらえる機会を捉え、文化連携を促進していくことは、相互の国での理解者を増やせるよい機会と捉えている。今後もこういった機会を出来るだけ増やしたい。今回
- 6) は Peter さんご自身の陶芸作品の話はなかったが、次回には作品展示やまた他の茶道家さんらとの交流なども考えていけるとよいと思う。なお、今回
- 7) の Peter さんという高名な工芸師匠をご紹介いただいた、JBSD 文化部長の池田さん（三菱電機）に感謝申し上げたい。

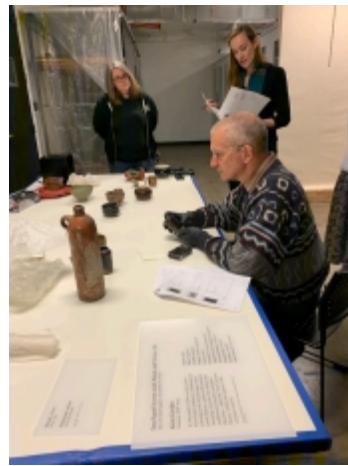
Peter Hamann 氏

1956年アメリカ、ネブラスカ州生まれ。78年グレースランド大学美術学科卒業。81年初来日。85年滴翠美術館付属陶芸研究所卒業、兵庫県篠山市に開窯。94年日本工芸会正会員。2001年田部美術館大賞「茶の湯の造形展」奨励賞（15年同賞）。15年日本国籍取得（本名：井谷宗巖）。18年6月20日～26日大阪高島屋にて個展。

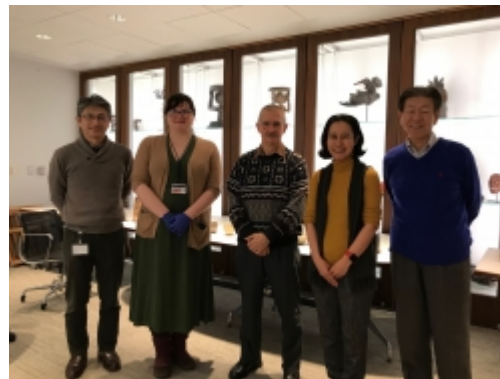
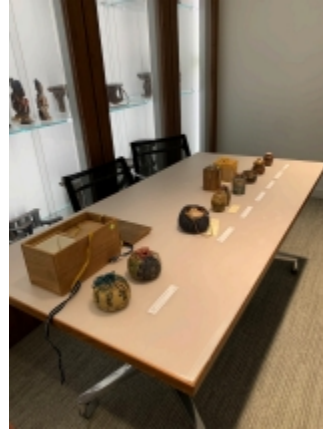
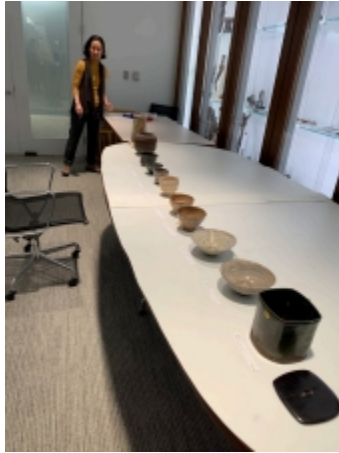


写真：氏の代表的な青磁器作品

DIA 館内にて



UMMA 館内にて



以上

陶芸家・茶人 Peter Hamannさん行程表

as of 2019/1/11

Date	Day	AM	PM	Notes
2019/1/16	Thu	10:00 DIA Prentis Ctに集合	1:00 Katherine KasdorfとPrentis Ctで会う	
		DIA館内の案内（大光）	日本ギャラリー、アジアギャラリーの案内	
			2:00 DIAセキュリティ入館手続き	
			陶磁器関係の面談・作品見聞	
		途中DIA内のカフェで昼食	4:00 DIAを去る	
			デトロイトダウンタウン案内（車窓から）	
			5:30 imaレストランで夕食	
		夕食後帰宅		
2019/1/17	Fri	10:00 UMMAの新館入口付近に集合	1:30 UMMAに戻る	
		及部さんと陶磁器作品を見ながら面談	及部さんにアジア・日本ギャラリーをご案内戴く	
		12:00-1:30 アナーバー市内のMani レストランで昼食（UMMAから徒歩で7分ほど）	3:45 UMMAにて解散	